

平成 29 年 度

佐 賀 大 学
入 学 者 選 拔 要 項

佐 賀 大 学

目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	学部、学科・課程等及び募集人員等	14
III	出 願 資 格	15
IV	選 抜 方 法	16
	○教科・科目名の表記について	17
	○平成29年度大学入試センター試験の科目選択及び得点の取扱い等について	18
	○平成29年度個別学力検査等の出題範囲及び試験方法について	19
	○平成29年度佐賀大学入学選抜（一般入試）における実施教科・科目等	20
	○平成29年度特別入試（推薦入試）出願資格・選抜方法	30
	○平成29年度特別入試（A O入試）出願資格・選抜方法	36
	○平成29年度特別入試（帰国子女，社会人）出願資格・選抜方法	38
V	私費外国人留学生入試	42
VI	障がい等を有する志願者との事前相談について	44
VII	学生募集要項の公表・配布及び請求方法について	45

■入試日程

選 抜 種 別	学 部	出 願 期 間	試 験 日	合 格 者 発 表 日	
一 般 入 試	教育学部，芸術地域デザイン学部， 経済学部，理工学部，農学部	平成29年1月23日(月) ～ 平成29年2月1日(水)	平成29年2月25日(土)	平成29年3月7日(火)	
			平成29年2月25日(土) 平成29年2月26日(日)		
	医学部	平成29年2月1日(水)	平成29年3月12日(日)	平成29年3月22日(水)	
			平成29年3月12日(日) 平成29年3月13日(月)		
特 別 入 試	教育学部，芸術地域デザイン学部， 経済学部，理工学部，農学部	平成28年11月1日(火) ～ 平成28年11月8日(火)	平成28年12月2日(金) 平成28年12月3日(土)	平成28年12月12日(月)	
		医学部看護学科			
	理工学部	平成29年1月16日(月)～ 平成29年1月23日(月)	—	平成29年2月8日(水)	
		医学部医学科 (一般枠・佐賀県枠・長崎県枠)	平成28年11月1日(火)～ 平成28年11月8日(火)		
	佐 賀 県 推 薦 入 学	医学部医学科 (右記出願期間はあらかじめ行 われる佐賀県の選抜を経た上 での出願期間です。)	平成28年11月17日(木) ～ 平成28年11月22日(火)	平成28年12月3日(土)	
A O 入 試	教育学部	平成28年8月18日(木) ～ 平成28年8月25日(木)	平成28年9月27日(火) 平成28年9月28日(水)	平成28年10月7日(金)	
	芸術地域デザイン学部		平成28年9月27日(火)		
帰 国 子 女	理工学部，農学部	平成28年11月1日(火) ～ 平成28年11月8日(火)	平成28年12月2日(金)	平成28年12月12日(月)	
	医学部医学科		平成29年2月25日(土) 平成29年2月26日(日)	平成29年3月7日(火)	
社 会 人	医学部看護学科	平成28年11月1日(火) ～ 平成28年11月8日(火)	平成28年12月3日(土)	平成28年12月12日(月)	
私 費 外 国 人 留 学 生 入 試	教育学部，芸術地域デザイン学部， 経済学部，理工学部，農学部	平成29年1月19日(木) ～ 平成29年1月24日(火)	平成29年3月1日(水)	平成29年3月7日(火)	
	医学部医学科		平成29年2月25日(土) 平成29年2月26日(日)		

I 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

教育学部

求める学生像

教育学部では、子どもの心身の発達や学びを支える教育の充実、確かな学力の形成、小学校段階での英語教育の充実、科学的思考力の育成、ICTを活用した教育の充実など、複雑で多様な地域の数多くの教育課題に対応できる高度な指導力を身につけた教員の養成を目指します。各コースの目的と求める学生像は以下の通りです。

幼小連携教育コース

現在の家庭・学校・地域が抱える教育的課題を解決するための教育学や心理学、幼児教育、特別支援教育の専門的知識を身につけ、幼児期から児童期にかけての子どもの心身の発達や学びを支えるための教育能力をもった教員を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 小学校の全教科に関する学習と、心理学・教育学・幼児教育の学習や特別支援教育の学習に意欲を持って取り組める人
 - ② 幅広い基礎的学力や技能を備え、家庭・学校・地域が抱える教育的課題や子どもたちの心身の発達、学びを支える教育について関心を持ち、幼稚園、認定こども園、小学校、または特別支援学校の教員を目指す人
- [幼小連携教育コースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

高等学校で履修する全ての教科・科目について、基礎的な知識を幅広く学習し、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現できることが必要です。将来、教師として活躍するためには、教職についての意欲と関心を培い、幼児教育や初等教育、特別支援教育をめぐる諸問題に対して強い関心を持つことが必要です。大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、将来教師になるにあたって糧となるような何らかの実践を経験できる機会があれば積極的に挑戦することを期待します。

小中連携教育コース

小学校から中学校までの9年間を一体としてとらえて、児童生徒の学習意欲を高め、学力を向上させていくための指導法や教材について学び、充実した教育実習を各学年で行うことにより、高度な教育実践力をもった教員を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 小学校の全教科に関する学習と、中学校のいずれかの教科の学習に意欲を持って取り組める人
 - ② 幅広い基礎的学力や技能を備え、小学校から中学校への教育の接続の問題や各教科の教育について関心を持ち、小学校、中学校、小中一貫校の教員を目指す人
- [小中連携教育コースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

文系、理系に偏らず、高等学校で履修する全ての教科・科目について、基礎的な知識を幅広く学習し、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現でき

ることが必要です。なお、技能が重要視される教科については、基礎的な量をあわせて修得しておくことが求められます。将来、小学校や中学校などの教師として活躍するためには、初等教育や中等教育をめぐる諸問題に対して幅広い視野と強い関心を持ち、読書などを通して自分自身で考えておくことが必要です。大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、教育に関わる何らかの実践を経験できる機会があれば、積極的に挑戦することを期待します。

入学者選抜の基本方針

教育学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力または適性を有しているかを、英語および国語または数学(いずれか1教科)によって評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力または適性を有しているかを、英語および小論文によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」、「推薦入試Ⅱ(佐賀県枠)」および「AO入試」の3つの入試区分により、入学者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文、基礎学力試験によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、小論文によって評価します。さらに、明確な志望動機、特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員を目指す強い意志、入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ(佐賀県枠)】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文、基礎学力試験によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有し

ているかを、小論文によって評価します。さらに、明確な志望動機、佐賀県下の小学校教員を目指す強い意志、入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

【AO入試】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、活動実績報告書、小論文、面接試験、適性検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、教職を目指す強い意志、入学後の学習意欲等を有しているかを書類審査と面接試験によって評価します。

芸術地域デザイン学部

求める学生像

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能をもち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。各コースの目的と求める学生像は以下の通りです。

芸術表現コース

現代の様々な問題に主体的かつ積極的に取り組み、芸術を自ら創造・表現し、美術・工芸や有田セラミックの専門的知識を身につけ、マネジメントとともに共同参画することで、地域創生に貢献する人材を養成します。そのために以下のような学生を求めています。

- ① 高等学校で習得すべき基礎的学力と芸術についての知識、また、自らの手による描写力、発想力など芸術表現に関わる基本的な能力を有する人
 - ② 専門分野の内容を学習するために必要な読解力、論理的思考力、分析力、考察力などを有する人
 - ③ 地域社会が抱える問題に関心があり、芸術表現を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力等を有する人
 - ④ 意欲的かつ継続的な芸術の研究や自主的な芸術の活動を目指す人
 - ⑤ 将来、企業で美術に関わる仕事をする者、美術・工芸作家、造形・セラミック技術者、デザイナー、美術・工芸の販売や流通に関わる仕事、中学校・高等学校の美術教員、また、広くメディアに関わる仕事を志望する人
- 〔芸術表現コースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

芸術表現コースで学ぶにあたって大きく3つの事を意識してください。1つ目は「活力」です。芸術が果たしてきた役割を学びつつ、これからの社会とどのようにつながることが出来るかを想像してください。主体的な自分が生まれ、同時に活力を生み出す事が出来ます。2つ目は「理知」です。身の回りの現実にかかる出来事に興味を持ち、気になる事に少し立ち止まりながら知識を深めてください。様々な分野の事が複雑に関係している世界の様々な兆候を見逃さない感性が育まれ、理知へと発展します。3つ目は「発信」です。自分の好きなものや気になることを誰かに積極的に伝えてください。それは活力と理知を伴って社会への発信へ変わります。これらの事を入学前から意識することで、より有意義な大学生活が送れるはずですよ。

地域デザインコース

地域資源をデザインの手法を使ってコンテンツ化し、地域創生に貢献できる人材、キュレーター(学芸員)やアートコーディネーターとして国内・海外の文化芸術振興に寄与できる人材、また、まちづくり、地域創生等のコーディネーターやリーダーとして地域社会に貢献できる人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 高等学校で習得すべき基礎的学力と発想力、また、地域社会が抱える問題についての基礎的な知識を有する人

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、日本留学試験、TOEFLの成績、日本語作文および面接試験によって、入学後の学習に必要な語学力について評価します。また、大学で学習するために必要な基礎学力(汎用的な能力、専門科目を理解できる基礎学力および適性を含む)を有しているかを、日本留学試験と書類審査(成績証明書等)によって評価します。さらに、教育学部に対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

- ② 専門分野の内容を学習するために必要な読解力、論理的思考力、分析力、考察力などを有する人
- ③ 国内に限らずグローバルな視点で情報収集、情報発信できる一定の語学力を有する人
- ④ 地域社会が抱える問題に関心があり、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力等を有する人
- ⑤ 主体的なものごとに取り組み、積極的に行動できる人
- ⑥ 意欲的かつ継続的に地域の文化芸術活動に参画する意欲のある人
- ⑦ 将来、キュレーター(学芸員)やアートコーディネーターとなることを、また、自治体・企業等で文化振興、文化財保存やまちづくり等に携わる仕事を志望する人

〔地域デザインコースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

本コースで問われるのは、芸術表現の技能・巧拙ではありません。地域デザインコースにおける4年間の教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学んでおくことが重要です。特に、国語、英語の基礎的な学力を有していることが求められます。これらの幅広い基礎的な学力をもとに、自分の考えを分かり易く、文章や絵、図表などを多角的に組み合わせることで口頭で表現できる企画力、発想力、表現力が必要です。将来、国内・海外の文化芸術振興、あるいはまちづくり、地域創生等に貢献できる人材となるためには、地域社会にとどまらない幅広い視野と強い関心を持つことも重要です。読書などを通して知識教養を深めるとともに、大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、地域や社会全般に関わる何らかの実践を経験できる機会があれば、積極的に挑戦することを期待します。

入学者選抜の基本方針

芸術地域デザイン学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力、適性および技術を有しているかを、各コースが指定する評価方法(総合問題、実技検査)によって評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力、適性および技術を有しているかを、各コースが指定する評価方法(学力検査、問題解決・提案力テスト、実技

検査)によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「AO入試」の2つの区分により、入学者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、推薦書によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、適性および技能を有しているかを、ポートフォリオ、実技検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

【AO入試】(芸術表現コース)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書と適性検査によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、ポートフォリオ、適性検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、入学後の学習意欲等を

有しているかを書類審査と面接試験によって評価します。

【AO入試】(地域デザインコース)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文および適性検査によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、小論文と適性検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、入学後の学習意欲等を有しているかを書類審査(特色加点を含む)と面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために私費外国人留学生入試を行います。本入試では、日本留学試験、TOEFL、日本語作文(地域デザインコース)および面接試験によって、入学後の学習に必要な語学力について評価します。また、大学で学習するために必要な基礎学力(汎用的な能力および専門科目を理解できる基礎学力または適性を含む)を有しているかを、日本留学試験、書類審査(成績証明書等)、実技検査(芸術表現コース)によって評価します。さらに、各コースに対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

経済学部

求める学生像

経済学部は、経済学・経営学・法学を柱として社会科学上の知識と教養を授け、経済や社会における課題を分析し、解決できる人材を育成することを教育の目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

経済学科

経済学科は、経済の理論と政策を学び、現代の経済と社会の仕組みについて総合的に考え、幅広い視野と専門知識をもつ人材を育てることを教育の目的としています。そのために、以下に示すような学生像を求めています。

- ① 現代に生起している問題に関心をもち、経済と社会の仕組みを理解しようとする意欲を持つ人
- ② 様々な社会現象を理解するために必要な幅広い基礎学力を有している人
- ③ 社会の変化に対応するために、生涯に亘って学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学修能力を大学で得たいと考えている人

[経済学科で学ぶために必要な能力や適性及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

社会で生起している問題を理解するためには幅広い基礎知識が必要です。様々な知識や情報をもとに自分なりの考えをまとめるためには、文章の読解力だけでなく、論理的に記述する国語力が求められます。また、経済学には、数学的な思考が必要な分野も含まれます。したがって、高等学校の教科書レベルの知識を習得していることが重要です。専門高等学校から進学する場合には、普通科の科目だけでなく、商業科目の基本的な知識と技能を習得しておくことが求められます。社会問題への関心と情報収集能力が必要です。

国際性が求められる時代においては、英語を中心とした外国語だけでなく、歴史や地理などの幅広い知識が国際経済や国際政治などの理解を深めるために必要です。また、経済や経営、法律に関連する社会現象に関心を向け、関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

経営学科

経営学科は、企業の経営・会計を学び、企業経営について幅広い視野と専門知識をもつ人材を育てることを教育の目的としています。そのために、以下に示すような学生像を求めています。

- ① 企業の経営や会計を学びたいという強い意欲を持つ人
- ② 様々な社会現象を理解するために必要な幅広い基礎学力を有している人
- ③ 社会の変化に対応するために、生涯に亘って学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学修能力を大学で得たいと考えている人

[経営学科で学ぶために必要な能力や適性及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

企業の経営や会計を理解するためには幅広い基礎知識が必要です。様々な知識や情報に基づいて、自分なりの考えをまとめるためには、文章の読解力だけでなく、論理的に記述する国語力が求められます。また、経営学や会計学には、高等学校の教科書レベルの数学の知識や考え方を応用する分野も含まれます。専門高等学校から進学する場合には、普通科の科目だけでなく、商業科目の基本的な知識と技能を習得しておくことが望まれます。

国際性が求められる時代においては、英語を中心とする外国語だけでなく、歴史や地理などの幅広い知識が国際経済や国際ビジネスに対する理解を深めます。一方、社会問題への関心と情報収集能力が必要です。また、経済や経営、法律に関連する社会現象に関心を向け、関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

経済法学科

経済法学科は、経済と社会の規範である法律を学び、法政策について幅広い視野と専門知識をもつ人材を育てることを教育の目的としています。そのために、以下に示すような学生像を求めています。

- ① 現代の経済と社会の仕組みや規範について考えることに関心のある人
- ② 様々な社会現象を理解するために必要な幅広い基礎学力を有している人
- ③ 社会の変化に対応するために、生涯に亘って学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学修能力を大学で得たいと考えている人

[経済法学科で学ぶために必要な能力や適性及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

経済と社会の規範である法律について理解するためには幅広い基礎知識が必要です。法律の用語や内容を理解するためには国語力が不可欠です。法律を学ぶには社会と政治についての知識が必要で、そのためには、歴史や

地理などの幅広い知識は重要なものとなります。国際性が求められる現代において、英語を中心とする外国語が重要であることは言うまでもありません。

そして、経済学や経営学も含めた幅広い学修が求められるため、高等学校の教科書レベルの数学の知識が必要となります。また、社会問題への関心と情報収集能力も必要です。経済や経営、法律に関連する社会現象に関心を向け、関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

入学者選抜の基本方針

経済学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての人を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解するために必要な基礎学力として、国際的な視野で情報を収集し理解するための英語力を有しているかを判断するために、個別試験によって英語の基礎学力を評価します。

【後期日程】大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、社会科学の専門知識を得るために必要な基礎学力として、文献や資料の読解力と論理的思考能力および表現力を有している

かを判断するために、個別試験の小論文によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」（「普通科又はこれに準ずると本学部が認める科推薦」と「商業系の科、情報系の科、総合学科推薦」の2区分）により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。本学部の選考では、大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、調査書によって高等学校での学習達成度を評価するとともに、専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性を有しているかを判断するために小論文を課し、書類審査と口頭試問によって本学部に対する明確な志望動機や入学後の学修意欲を評価します。なお、商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象にした区分では、簿記検定などの資格取得といった経済学部の勉学に関連した学習実績も評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学修するために必要な基礎学力として、日本語試験と日本語による口頭試問を行い、日本留学試験の結果と合わせて、入学後の学修に必要な語学力を持っているかを判断します。それと同時に、日本留学試験、書類審査、口頭試問によって、汎用的な学力および専門科目を学ぶために必要な基礎学力を評価します。さらに、本学部に対する明確な志望動機や入学後の学修意欲を有しているかを評価するために、書類審査と口頭試問を行います。

医 学部

求める学生像

医学部は、教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうる良き医療人を育成し、もって医学・看護学の発展並びに地域包括医療の向上に寄与することを基本理念とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

医学科

医の実践において、強い生命倫理観に基づくとともに広い社会的視野の下に包括的に問題をとらえ、その解決を科学的・創造的に行うような医師を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 医学への志を持ち、医学・医療により社会に貢献したいと考える人
- ② 他者への思いやりを持ち、コミュニケーションを取ることができる人
- ③ 学習と医療の研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- ④ 医学を学ぶために必要な基礎的学力・能力を備えている人
- ⑤ 生涯を通して、医学・医療について勉学する意欲のある人

〔医学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

医学は、生命科学を中心に自然科学のあらゆる分野が密接に関連しているとともに、人間を対象とする人文・社会科学の要素が深く関わっています。そのため、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく、幅広く習得しておくことが必要です。特に、生物・化学・物理・数学の基本的事項を充分理解し、それに基づく論理的な思考ができるようにしておく必要があります。さらに、大学の学習で用いる参考書等の理解、レポートの作成、グループ討論や発表に必要な国語力、英語力およびコミュニケーション能力を獲得していることも重要です。また、医学への志を確かなものにするために、医学・医療をとりまく社会に目を向け、読書やボランティア活動、医療関連に携わる先輩との交流などの取組

みを通じて、自らキャリアデザインを考える積極的な姿勢が望まれます。

看護学科

高い倫理観に基づき健康についての問題を包括的にとらえ、柔軟に解決する実践能力を持った看護職者を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 人間に関心を持ち、人々の健康と福祉に貢献したいと願う人
- ② 豊かな感性と表現力を身につけている人
- ③ 相手の立場に立って、柔軟に物事を考えられる人
- ④ 看護職に夢を持ち、理想とする看護職者を目指そうとする人
- ⑤ 幅広い基礎学力と論理的な思考力を備えている人
- ⑥ 生涯を通して、看護学や医療について勉学する意欲のある人

〔看護学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

看護学は、健康な人から病をもつ人まで様々な健康レベルの人々を対象とした実践科学です。人間は身体的・精神的・社会的存在で、環境と相互作用しながら健康を維持しています。これらの健康のしくみには、自然・人文・社会科学の要素が深く関わっているため、看護学の学習のためには、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく、幅広く習得しておくことが必要です。看護実践の基礎となる、看護の知識と専門的技術の修得には、特に、生物・化学・物理・数学の基本的事項を理解し、論理的な思考ができるようにしておく必要があります。また、看護は人間関係を通して実施されるため、文章による意思の疎通に必要な国語力や自己・他者間の理解を共有するためのコミュニケーション能力を獲得していることも重要です。大学での学習は、看護の生涯学習の基盤となるため、国内外の社会に目を向け、読書やボランティア活動などの自己啓発の取組みを通じて、自ら考える積極的な姿勢が望まれます。

入学選抜の基本方針

医学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力、明確な志望動機や入学後の意欲等、医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、学力検査(医学科)、小論文(看護学科)、面接試験および調査書によって評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、調査書、自己推薦書および面接試験によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質および経験を有し、そして本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」(看護学科)、「推薦入試Ⅱ」(医学科)、「佐賀県推薦入学」(医学科)、「帰国子女」(医学科)、「社会人」(看護学科)の5つの入試区分により、入学希望者を選考します。なお、「推薦入試Ⅱ(佐賀県枠)」と「佐賀県推薦入学」については、将来、佐賀県内の医療活動に、また「推薦入試Ⅱ(長崎県枠)」については、将来、長崎県内の医療活動に貢献したいという強い意志を持つ者を対象とします。

【推薦入試Ⅰ】(看護学科)出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、調査書と小論文によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ】(医学科)出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されるこ

とを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【佐賀県推薦入学】(医学科)出願要件を満たし、佐賀県から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【帰国子女】(医学科)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査と書類審査によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【社会人】(看護学科)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、書類審査と小論文によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

3年次編入学試験(看護学科)

短期大学、専修学校及び高等学校の専攻科の課程の卒業で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者を対象に3年次編入学試験を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、小論文と書類審査によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試(医学科)

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、日本留学試験、TOEFLの成績および書類審査によって評価します。さらに、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

理工学部

求める学生像

理工学部は、幅広い教養と科学・技術の専門的な素養を持ち、社会の広い分野で活躍できる人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

数理科学科

数理科学科では、数学及び数理科学の領域において、広く社会で活躍できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者となる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学および数理科学の分野の専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人
- ② 数学および数理科学の分野で、専門的知識を社会に活用できる教育者、技術者を目指す人

〔数理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

数学の概念や論理的厳密性を修得するためには、微分積分、線形代数、集合・位相といった数学の基本的な考え方や手法を身につけることが必要です。そのためには、高等学校で履修する数学の基礎的理解と応用力が不可欠です。さらに、自然科学の基本的な概念や原理・法則を理解して科学的な自然観を養っておくことは、学びの視野を広げることに繋がります。そのため、高等学校で学ぶ理科についても教科書レベルの知識を有していることが望まれます。一方、専門科目に限らず、大学では多くのレポートを書くことが一般的です。レポート作成には、文章の読解力と記述力さらには社会的な常識が必要となります。したがって、高等学校で学ぶ国語や社会の基礎的な学力は必要です。さらに、日本語文献だけでなく英語文献などもセミナー形式で学習しますので、英文の基礎的な読解力だけでなく、自分で辞書等を調べて英文を読みこなす習慣をつけておくことが必要です。

物理科学科

物理科学科では、広範な自然現象を理解する試みを通して、現代の科学技術を支える学力と、柔軟性に富んだ豊かな発想力を培い、広い分野で活

躍できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

① 理数系科目の学力に優れ、自然科学に対して強い興味を持つ人
〔物理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

物理学における基本的な概念や法則を理解するためには、高等学校で履修する物理と数学の基本的事項の理解および計算能力だけでなく、それらの知識に基づく論理的な思考力が求められます。また、実験や観測を通して法則を見出すための洞察力も必要です。さらに、専門的な知識や考え方を修得するためには、海外の文献にも目を通すことが必要であり、高等学校の教科書レベルの英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

知能情報システム学科

知能情報システム学科では、情報科学及び情報工学の学問領域における専門知識・能力及び広い視野を持ち、知識基盤社会を担う人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 全般的な基礎学力を備え、特に数学、理科の学力を備えた人
 - ② ITに対する興味と基礎知識がある人
 - ③ ソフトウェア開発や情報システムの構築に取り組む意欲のある人
- 〔知能情報システム学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

知能情報システム学科では、ITの理論の専門基礎を重点的に教育します。そのため、高等学校で数学及び理科の基礎事項を理解し、教科書レベルの問題を解く能力を求めます。文書作成、口頭発表の能力を育成しますので、国語の学力が重要です。専門文献を読むため及び国際社会で活躍するための語学教育に必要な英語の学力も要求します。また、幅広い文化、自然、社会の素養を修得するために広範な基礎学力も必要です。本学科では、実験科目や卒業研究を通してグループの中で協調性、自主的学習能力、情報収集能力などを育成します。したがって、良識的に行動し、高い学習意欲を持ち、知識の獲得に積極的な学生の入学を望みます。

機能物質化学科

機能物質化学科では、化学を通して継続的に社会に貢献することのできる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 日頃から身の回りにある物質・材料がどのような化合物からできていて、その機能はどのような原理に基づいているのかに興味を持って調べ、自らの手で新しい機能物質を創り出すことに意欲を持つ人
 - ② 化学はもちろん生物・物理・数学など理数系科目が得意で、国語・社会・英語などの基礎学力を身に付けた人
- 〔機能物質化学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

化学は、物質の構造や機能の関係を明らかにするために、様々な物質を詳細に調べ、新しい物質の合成や分解を行います。そのため、既存物質の特性を正確に把握し、必要な仮説と検証実験、そして得られた結果の論理的説明が求められます。このように化学を専門的に学ぶためには、高等学校で学習する化学の基本事項を十分に理解していることが必要です。また、実験等で取得したデータ解析には、計算能力や数学的思考力が求められ、物質の物理的性質や生物学的性質を理解するためには物理学や生物学の知識が必要となります。したがって、高等学校で学習する数学、物理および生物の基礎学力は、化学を専門的に理解するためには欠かせないものです。さらに、新しい知識や技術を身につけるためには、外国の文献等にも目を通す必要があり、基礎的な英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

機械システム工学科

機械システム工学科では、機械工学及びその関連の領域において、専門的な基礎知識及びその応用力並びにものづくりの素養を身に付けた技術者となる人材を育成します。

① 理数系の基礎学力とともに倫理観を持ち、「ものづくり」に興味のある人
〔機械システム工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

機械工学は、すべてのものづくりに欠かせない技術であり、それを修得するためには、高等学校で学ぶ数学と物理および化学の基本的事項を理解し、教科書レベルの基本問題を解く能力を十分身につけておく必要があります。また、講義を理解して、レポートを作成したり、自分が調べたものを発表するためには、読解力や記述力を中心とする国語能力だけでなく、現代社会の仕組みや歴史、文化など高等学校の社会科で学ぶ一般的な知識も求められます。さらに、英文の読解や作成、外国人とのコミュニケーションなど様々な分野で将来的に活躍するためには、高等学校で学ぶ基礎的な英語力は欠かせないものです。そして、ものづくりを通じた社会への貢献に興味と熱意を持つことを期待します。

電気電子工学科

電気電子工学科では、電気工学及び電子工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

- ① エレクトロニクスや情報通信関連のハードウェアやソフトウェアなどの「もの創り」への関心を持ち、あるいは世界的視野に立ったエネルギーや環境問題などにも興味を持った意欲のある人
 - ② 高校時代においては数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけた人
- 〔電気電子工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

電気電子工学科に入学した学生は、日本の誇る大企業や九州の有力企業をはじめとする社会の第一線で活躍できるよう、電気電子工学に関連した様々な理数系専門科目を学びます。技術文書を正確に書く練習や、技術英語の修得も行います。そして、それらを駆使して社会に役立つものを創り出す研究活動も行います。そのため、入学時点で、数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけていることが必要です。国語、英語、社会の基本的な知識を学んでいることも必要です。高校等での学習においては、教科書の範囲で解ける標準的な問題を、確実に解けるようにすることを望みます。社会で活躍できることを目指して育成しますので、もの創りへの関心や、エネルギーや環境問題等への興味が必要であり、男女を問わず意欲ある人の入学を望みます。

都市工学科

都市工学科では、都市工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

- ① 私たちの暮らしを支える社会基盤や自然環境、建築デザインなどに興味のある人
- ② 専門教育に必要な基礎学力と勉学意欲を有している人
- ③ 自律的な学習を支える責任感、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志を持つ人

〔都市工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

都市における交通体系や水・エネルギー供給のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤・施設の整備と安全・安心の確保は非常に重要ですが、同時に自然環境や歴史、風土等との調和も必要です。都市工学科では、都市や地域に関する理解、形態や空間を扱うデザインも学問対象としていますので、様々な社会的事象および文化や歴史についても関心を持つことが求められます。したがって、都市工学科の志願者には、高校で学ぶ数学・物理など自然科学の基礎力、論理的思考を支える国語力、英語で書かれた文献の理解のための英語力、さらに地域の文化や歴史に目を向け得るための社会

的な基礎知識などが求められます。

入学者選抜の基本方針

理工学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって数学と理科、英語の基礎学力を評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、各学科の専門科目と特に関係の深い教科および科目について高い学力を有しているかを判断するために、個別試験によって各学科が指定する科目の学力を評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」、「推薦入試Ⅱ」及び「帰国子女」の3つの入試区分により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、調査書、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、適性および明確な入学の意思を有しているかを判断するために、調査書と推薦書によって評価します。

【帰国子女】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で

学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

3年次編入学試験

各学科の専門分野において、さらに高度な専門教育・研究を希望する他教育機関からの学生を対象に3年次編入学試験を行います。編入学試験では、「一般入試」、「推薦入試」および「外国人留学生特別入試」の3つの区分により、入学希望者を選考します。

【一般入試】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、口頭試問および成績証明書等によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

【推薦入試】出願要件を満たし、各所属長から推薦されることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、推薦書、小論文および口頭試問によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【外国人留学生特別入試】出願要件を満たし、各所属長から推薦されることを前提とします。その上で、入学後の学習に必要な日本語の習得について判断するために、日本留学試験の成績を用いて評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、口頭試問および成績証明書等によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力として、日本留学試験、TOEFLの成績および面接試験によって入学後の学習に必要な語学力について評価すると同時に、日本留学試験、書類審査および口頭試問によって汎用的な学力を有しているかを評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

農学部

求める学生像

農学部は、農業及び関連する学問領域において、多様な社会的要請にこたえる幅広い素養と実行力を身に付けた人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

応用生物科学科

応用生物科学科では、生物の特性を理解し、生物の改良や活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 多様な動植物の生理生態的特性の解明、バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用、有用動植物を加害する病害虫の制御等についての理解と関心がある人
- ② 問題解決に向けて、粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人

- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

〔応用生物科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者求める高等学校等での学習の取り組み〕

生物に対する興味が、生物の機能また生物が生育する環境について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識と、勉強を続けるための目的意識を持

つこと、さらに、教員、先輩、友人、留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

生物環境科学科

生物環境科学科では、3つのコースにおいて次のような人材を育成します。生物環境保全学コースでは、地球上の環境や生態系を深く理解し、これらの保全、再生及び活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。資源循環生産学コースでは、生物科学及び生産情報科学の理論と技術を学び、環境に配慮した食糧生産と環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。地域社会開発学コースでは、フィールドワークに基づく教育研究を通して、日本を含むアジア・太平洋諸地域における、持続可能な循環型地域社会の構築に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 自然環境、社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
- ② 持続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲がある人
- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

〔生物環境科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

人間を含む生物やそれを取り巻く環境及び人間社会に対する興味があり、これらを総合的に学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学の課題にはグローバルな問題が多くあり、それを解決する糸口を得るため、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が望まれます。

生命機能科学科

生命機能科学科では、科学的思考力を備え、生命科学技術の応用を通して、食と健康の分野において社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス、食品の生体調節機能、栄養機能や安全性等に興味を持っている人
 - ② 将来、本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人
- 〔生命機能科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

生命現象に対する科学的興味があり、微生物から高等生物までの生命体が持つ機能について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。

さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

入学選抜の基本方針

農学部教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と

多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」と「英語」の基礎学力を評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を深く理解するために必要な数理的な思考力・表現力に関する高い能力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」の基礎学力を評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「帰国子女」の2つの入試区分により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(調査書、推薦書、作文等)、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【帰国子女】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(成績証明書等)、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

3年次編入学試験

短期大学及び専修学校の卒業生等で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者学生を対象に3年次編入学試験を行います。

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、書類審査(成績証明書等)、学力検査(英語)、口頭試問および面接試験等によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力として、日本留学試験、TOEFLの成績および面接試験によって入学後の学習に必要な語学力について評価すると同時に、日本留学試験、書類審査(成績証明書等)および口頭試問によって汎用的な学力を有しているかを評価します。

また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

教育学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象コース・専攻
知識・理解・必要・基礎学力	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目(または6教科7科目)の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試(前期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		調査書によって、高等学校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ:佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻) 小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
			特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		小論文によって、問題理解力、文章構成力、論理性、表現力、知識について評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
			特別入試(推薦入試Ⅰ:佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻) 小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
		基礎学力試験によって、外国語(英語)について高等学校教科書レベルの基礎学力を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻)
		基礎学力試験によって、外国語(英語)と数学について高等学校教科書レベルの基礎学力を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ(佐賀県枠))	小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
		日本留学試験において、文系科目または理系科目の成績を用いて、基礎的な学力を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
	日本語作文および面接試験において、基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース	
	書類審査(成績証明書等)において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース	
	TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース	
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	大学入試センター試験において、5教科7科目(または6教科7科目)の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試(前期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		個別学力検査において、高等学校で履修する英語の基礎的な知識だけでなく、長文読解力、論理的思考力および表現力等を有しているかを記述式によって評価するとともに、国語と数学のいずれか1教科について、標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力を記述式によって評価します。	一般入試(前期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
			個別学力検査において、高等学校で履修する英語について、基礎的な知識だけでなく、長文読解力、論理的思考力および表現力等を有しているかを記述式によって評価します。	一般入試(後期日程)
		小論文によって、問題理解力、文章構成力、論理性、表現力、知識について評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
			特別入試(推薦入試Ⅰ:佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻) 小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
適性検査において、志望分野で学ぶために必要な基礎能力および適性について評価します。		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
面接試験において、志望分野で学ぶために必要な基礎能力および適性について評価します。		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
活動実績報告書によって、志望領域に関するこれまでの活動実績を評価します。		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
書類審査(成績証明書等)において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース		
興味・関心・態度・意欲	志望コース・専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試(推薦入試Ⅰ)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻)
		志望理由書における志望理由を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ(佐賀県枠))	小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
		志願理由書における志願理由を評価します。	特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		活動実績報告書によって、志望領域に関するこれまでの活動実績を評価します。	特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		面接試験において、志望コース・専攻で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ:佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻) 小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
			特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		面接試験において、教育学部で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース

芸術地域デザイン学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象コース
知識・理解・必要に思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、3教科3科目の国語、外国語を中心とした基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、3教科4科目（または4教科4科目）の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		大学入試センター試験において、4教科4科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（後期日程）	地域デザインコース
		総合問題によって、読解力、論理的思考力、分析力、考察力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		調査書によって、高等学校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（AO入試）	芸術表現コース
			特別入試（AO入試）	地域デザインコース
		適性検査によって、基本的な学習能力を評価します。	特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（AO入試）	地域デザインコース
		日本留学試験において、コースが指定した科目について基礎的な学力を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース
	日本語作文および面接試験において、基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試	地域デザインコース	
	書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース	
	TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース	
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	大学入試センター試験において、3教科3科目の国語、外国語を中心とした基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、3教科4科目（または4教科4科目）の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		大学入試センター試験において、4教科4科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（後期日程）	地域デザインコース
		総合問題によって、読解力、論理的思考力、分析力、考察力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		問題解決・提案力テストによって、企画力、発想力、表現力等を含む問題解決能力及び提案力を評価します。	一般入試（後期日程）	地域デザインコース
		実技検査によって、基本的な技術を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 私費外国人留学生入試	芸術表現コース
適性検査によって、基本的な学習能力を評価します。		特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース	
ポートフォリオによって、これまでの作品や実績、表現力を評価します。		特別入試（AO入試） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	芸術表現コース	
小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。		特別入試（AO入試）	地域デザインコース	
書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース		
興味・関心・態度・意欲	志望コースで学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	芸術表現コース
		志願理由書において、学習意欲を評価します。	特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
			特別入試（推薦入試Ⅰ）	芸術表現コース
		面接試験において、志望コース・分野で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
			私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース
	特色加点申請書（申請者のみ）によって、志望領域に関するこれまでの活動実績を評価します。	特別入試（AO入試）	地域デザインコース	

経済学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、4教科5科目の主要教科についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）
		日本留学試験において、文系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
		面接試験において、基礎的な日本語能力を評価します。	私費外国人留学生入試
		大学入試センター試験において、4教科5科目の主要教科についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	個別試験で、高校で履修する「英語」における、基礎的な英文の読解力および英語作文力を記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書によって、高校時代に取得した資格を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） ※商業系の科、情報系の科、総合学科推薦のみ
		口頭試問によって、本学部で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、文系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試
		調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
興味関心態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		志願者本人の自筆の作文によって、志望理由、入学後の意欲等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		面接試験において、本学部で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 私費外国人留学生入試

医学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	評価方法	入試方法	対象学科
知識・理解・思考・判断	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
	大学入試センター試験において、5教科6科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	看護学科
	個別試験において、高校で履修する数学、英語、物理、化学について、標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力について記述式によって評価します。	一般入試（前期日程） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
	調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
		一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
		特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
	小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（前期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（社会人） 3年次編入学試験	看護学科
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試
	日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
	日本留学試験と面接試験において、基本的な日本語力を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科	

観点	評価方法		入試方法	対象学科
興味・関心・態度・意欲	医療従事者としての適性および明確な志望動機や入学後の意欲等	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
			一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
		自己推薦書の内容について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）	医学科
			一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
	推薦書において、推薦の理由を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科	
		特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科	
	面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。		一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
			一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（社会人） 3年次編入学試験	看護学科

理工学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
		日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価する。	私費外国人留学生入試
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
		TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理、化学および英語に関する標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理および化学の中から1つの科目について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）
		調査書において、専門科目を理解できる基礎学力及び適性を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅱ）

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な基礎学力 専門科目を学ぶために必要な基礎学力	学力検査において、数学、英語、専門科目に関する標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力について記述式によって評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試

農学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
		日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力	TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試
		大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		個別試験において、高校で履修する「数学」について、標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力を記述式によって評価します。また、「英語」では、長文読解力、論理的思考力等を有しているかについて記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）
		学力検査において、英語文章の読解力について評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
		調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）

Ⅱ 学部，学科・課程等及び募集人員等

募集人員等 学部，学科・課程等名			入学 定員	募 集 人 員							備 考
				一般入試		特 別 入 試					
				前期 日程	後期 日程	推薦入試Ⅰ (大学入試セン ター試験を 課さない)	推薦入試Ⅱ (大学入試 センター試 験を課す)	AO 入試	佐賀県 推薦入学	帰国 子女	
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース	25	15	5	-	-	-	-	-	○初等教育主免専攻の推薦入試における募集人員5人は、佐賀県枠で募集します。 ○幼小連携教育コース（推薦入試は除きます。）は、入学後それぞれの専攻に分かれます。
		特別支援教育専攻				5					
	小中連携教育コース	初等教育主免専攻	70	43	12	5	-	10	-	-	
		中等教育主免専攻	25	12	5	-	-	8	-	-	
小			120	70	22	10	-	18	-	-	
芸術地域デザイン学部	芸術表現コース		55	33	12	4	-	6	-	-	
	地域デザインコース		55	25	15	-	-	15	-	-	
	小			110	58	27	4	-	21	-	
経済学部	経済学科		110	70	20	20	-	-	-	-	○一般入試は、3学科の中から順位を付けて第3志望まで志望できます。
	経営学科		80	30	20	30	-	-	-	-	
	経済法学科		70	35	25	10	-	-	-	-	
	小			260	135	65	60	-	-	-	
医学部	医学科		106	50	10	-	*44	-	2	若干人	○医学科の推薦入試における募集人員44人は、一般枠20人、佐賀県枠23人、長崎県枠1人となります。 ○看護学科の推薦入試における募集人員20人のうち、2人以内を専門系の科及び総合学科から募集します。
	看護学科		60	35	5	20	-	-	-	若干人	
	小			166	85	15	20	44	2	-	
理工学部	数理科学科		30	24	6	-	-	-	-	-	○一般入試（前期日程）は、7学科の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 ○機能物質化学科は、入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。 ○都市工学科は、入学して1年半後にそれぞれのコースに分かれます。
	物理科学科		40	30	8	-	2	-	-	-	
	知能情報システム学科		60	45	10	2	3	-	-	-	
	機能物質化学科	物質化学コース	90	62	16	2	10	-	-	各学科 若干人	
		機能材料化学コース									
	機械システム工学科		90	58	17	5	10	-	-	-	
	電気電子工学科		90	60	22	4	4	-	-	-	
	都市工学科	都市環境基盤コース	90	61	15	4	10	-	-	-	
建築・都市デザインコース											
小			490	340	94	17	39	-	-		
農学部	応用生物科学科		45	25	10	10	-	-	-	-	○一般入試は、3学科の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 ○生物環境科学科は、入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。
	生物環境科学科	生物環境保全学コース	60	30	15	15	-	-	-	各学科 若干人	
		資源循環生産学コース									
		地域社会開発学コース									
生命機能科学科		40	30	5	5	-	-	-	-		
小			145	85	30	30	-	-	-		
合 計			1,291	773	253	141	83	39	2	-	

（備考）推薦入試Ⅰ、佐賀県推薦入学特別入試及び教育学部のAO入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の前期日程の合格者で補充します。また、推薦入試Ⅱの医学部医学科については、一般入試の後期日程の合格者で補充します。AO入試の芸術地域デザイン学部及び推薦入試Ⅱの理工学部については、一般入試の合格者で補充します。

後期日程の募集人員には、帰国子女特別入試及び社会人特別入試の募集人員（若干人）を含みます。

* 医学科の推薦入試Ⅱ佐賀県枠には「佐賀県医師修学資金」が貸与される5人が含まれ、長崎県枠には「長崎県医学修学資金」が貸与されます。なお、詳細は推薦入試募集要項に掲載します。

Ⅲ 出願資格

本学へ出願できる者は、次のいずれかに該当する者となります。

1 一般入試（前期日程・後期日程）

- ① 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」といいます。）を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行います。

※申請期間及び申請書類の送付先等

本学の個別の入学資格審査により、入学資格の認定を受けようとする者は、平成28年8月25日(木)までに申請するものとします。

ただし、他大学において入学資格の認定を受け、平成29年度大学入試センター試験に出願し、受理された者については、平成29年1月18日(水)までに申請するものとします。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書し、本学入試課に送付してください。

〈参考〉学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

※上記出願資格以外に、平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目(20ページから29ページ参照)のうち一つでも受験しなかった者は、失格となりますので注意してください。

2 特別入試（推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱ，AO入試，佐賀県推薦入学，帰国子女，社会人）及び私費外国人留学生入試

30ページから43ページを参照してください。

IV 選抜方法

入学者の選抜は、一般入試及び特別入試並びに私費外国人留学生入試により行います。
本学では、大学入試センター試験の過年度成績は利用しません。

1 一般入試

(1) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績，調査書の内容を総合的に判断し，合格者を決定します。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目等は，20ページから29ページを参照してください。

医学部医学科においては，入学志願者が，募集人員を上回り，試験を適切に行うことが困難であると予想される場合（前期日程は募集人員の約5倍，後期日程は約10倍）に，2段階選抜を実施します。

(2) 本学が課す大学入試センター試験の受験を要する教科・科目と個別学力検査等の教科・科目等のうち一つでも受験しなかった者は，失格とします。

(3) 採点・評価基準，合否判定基準は，募集要項に掲載します。

(4) 入学手続締切後，入学手続完了者が入学定員に満たない場合は，原則として追加合格者を決定し補充することとしますが，欠員補充第2次募集を行うこともあります。

2 特別入試及び私費外国人留学生入試

30ページから43ページを参照してください。

○教科・科目名の表記について

1. 大学入試センター試験の利用教科・科目名は、次のように略しています。

教科名		科目名			
略称	正式な教科名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
国	国語	国	国語		
地歴	地理歴史	世A	世界史A	世B	世界史B
		日A	日本史A	日B	日本史B
		地理A	地理A	地理B	地理B
公民	公民	現社	現代社会	倫	倫理
		政経	政治・経済	倫・政経	倫理, 政治・経済
数	数学	数I	数学I	数I・数A	数学I・数学A
		数II	数学II	数II・数B	数学II・数学B
		簿・会	簿記・会計	情	情報関係基礎
理	理科	物	物理	化	化学
		生	生物	地学	地学
外	外国語	英	英語	独	ドイツ語
		仏	フランス語	中	中国語
		韓	韓国語		

2. 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記1と同様に略すほか、次のように略しています。

科目名					
略称	正式な科目名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
国総	国語総合	国表	国語表現	数Ⅲ	数学Ⅲ
数A	数学A	数B	数学B	コ英I	コミュニケーション英語I
コ英II	コミュニケーション英語II	コ英III	コミュニケーション英語III	英表I	英語表現I
英表II	英語表現II	物基	物理基礎	化基	化学基礎

○平成29年度大学入試センター試験の科目選択及び得点の取扱い等について

【地歴・公民】

- (1) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合の取扱いについては、「第1解答科目」の得点を採用します。

学部・学科等が指定した科目は、必ず「第1解答科目」で受験してください。

- (2) 学部・学科等が指定する科目を「第1解答科目」で受験せず、「第2解答科目」で受験した場合は、0点として取扱います。

なお、受験が認められていない同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択した際に、「第1解答科目」を学部・学科等が指定していない科目を受験し、「第2解答科目」で受験した場合は、無資格として取扱い、検定料の一部を返還します。

*参考（取扱い例）

地歴・公民の指定科目	第1解答科目 の受験科目	第2解答科目 の受験科目	得点の取扱い
世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1	世B	地理A	第1解答科目の「世B」を採用
	地理A	世B	地歴・公民の得点は0点
	世A	世B	無資格とします。

【理科】

- (1) 「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択することを表します。

- (2) 「基礎を付していない科目」とは、「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」を表します。

- (3) 学部・学科等が「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から2科目と指定する場合に「物理」と「物理基礎」など、同一名称を付した科目を選択することはできません。

- (4) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点を採用します。また、「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」を受験した場合は、高得点を採用します。

【数学】

- (1) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合は、高得点の科目を採用します。

- (2) 医学部, 理工学部, 農学部については、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【複数教科・科目間の選択にかかる得点の取扱いについて（指定科目数を超えて受験している場合）】

複数教科間の科目採用については、高得点順とします。ただし、地歴・公民及び理科（「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」を受験した場合を除く。）においては、「第1解答科目」を優先します。

【外国語】

外国語において英語を受験した者については、リスニングを受験してください。リスニング未受験の者については、失格とします。

(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

筆記試験200点満点、リスニング50点満点を以下のとおり換算し、利用します。

学 部	日 程	筆記試験	リスニング	合 計
教育学部	前 後 期 期	160点	40点	200点
芸術地域デザイン学部	前 後 期 期	160点	40点	200点
経済学部	前 後 期 期	160点	40点	200点
医学部	前 後 期 期	112点	28点	140点
	推 薦 II	128点	32点	160点
	佐賀県推薦	112点	28点	140点
理工学部	前 後 期 期	160点	40点	200点
	後 期	120点	30点	150点
	推 薦 II	200点	50点	250点
農学部	前 後 期 期	80点	20点	100点

※リスニングを免除された者については、各学部とも、筆記試験(200点満点)の得点を合計欄の点数に換算し、利用します。

○平成29年度個別学力検査等の出題範囲及び試験方法について

【数学】

出題範囲は次のとおりです。

- (1) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B の場合

数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Aは、全範囲から出題します。数学Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。

- (2) 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B の場合

数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。

【総合問題】

文章(英文を含む)や資料(図表, 写真, 絵, 地図など)を題材に, 読解力, 論理的思考力, 分析力, 考察力を問います。

【問題解決・提案力テスト】

地域や社会に関する課題や事象に対する解決策や提案を, 文章や図表, 絵などにより, 解答用紙に簡潔にまとめたものについて, 企画力, 発想力, 表現力等を含む問題解決能力及び提案力を総合的に評価します。

筆記用具については募集要項に掲載します。

平成29年度佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
教育学部 学校教育課程 〔5.2〕 120人 前期 70 後期 22 その他28	幼小連携教育コース 〔幼小発達教育専攻〕 〔特別支援教育専攻〕 25人 前期 15 後期 5 その他 5	前期 2月 25日	国 数 地歴・ 公民 理 外	国【必須】 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から2 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から1又は2 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1又は2 } から3 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 数 外	国総・国表 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	
		後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科5科目〕	外 その他	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ 小論文	
	小中連携教育コース 〔初等教育主免専攻〕 70人 前期 43 後期 12 その他 15	前期 2月 25日	地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から2 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から2 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 数 外	国総・国表 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	
			理 科 2 科 目 型	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から2 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕		
小中連携教育コース 〔中等教育主免専攻〕 25人 前期 12 後期 5 その他 8	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科5科目〕	外 その他	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ 小論文		

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入 試方法等		
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総 問	合 題	小論文	実技	面接	調 書	査 等		その他	配 点 計
センター試験	200	*(注1)		200	*(注1)	200									900	推 薦 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*200			*200		200									400	
計	*400	*(注1)		*400	*(注1)	400									1300	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200									1000	推 薦 A O 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査						200			200						400	
計	200	*200	*200	200	200	400			200						1400	
センター試験	200	*200(注2)		200	100	200									900	推 薦 A O 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*200			*200		200									400	
計	*400	*200(注2)		*400	100	400									1300	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200									900	推 薦 A O 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*200			*200		200									400	
計	*400	*100	*100	*400	200	400									1300	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200									1000	推 薦 A O 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査						200			200						400	
計	200	*200	*200	200	200	400			200						1400	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

(注1) 2教科3科目又は3教科3科目選択し、配点は各科目100点の合計300点とします。

(注2) 1教科2科目又は2教科2科目選択し、配点は各科目100点の合計200点とします。

平成29年度佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等〔平成28年度〕〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜		
芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科 55人 前期 33 後期 12 その他 10 [4.9] 110人 前期 58 後期 27 その他25	前期	〔3科目型〕	国	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } 物,化,生,地学,基礎を付した科目 } 英,独,仏,中,韓から1 } 〔3教科3科目〕	その他	実技検査（描写表現）		
			地歴・公民	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から2 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } から1又は2 物,化,生,地学,基礎を付した科目 } 英,独,仏,中,韓から1 } 〔3教科4科目又は4教科4科目〕	その他	実技検査（発想表現）		
			数	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 } 英,独,仏,中,韓から1 } 〔3教科3科目〕	その他	実技検査（描写表現） } から1 実技検査（発想表現） }		
	後期	〔4科目型〕	3月12日	国	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 } 英,独,仏,中,韓から1 } 〔5教科5科目〕	その他	総合問題（注1）	
			2月25日	地歴・公民	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情から1 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 } から1 英,独,仏,中,韓から1 } 〔4教科4科目〕	外	コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II } から1 その他 } から1 問題解決・提案力テスト（注2）	
			3月12日	数	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 } から1 英,独,仏,中,韓から1 } 〔4教科4科目〕	その他		
前期		2月25日	国	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情から1 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 } から1 英,独,仏,中,韓から1 } 〔5教科5科目〕	その他			
後期		3月12日	地歴・公民	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 } から1 英,独,仏,中,韓から1 } 〔4教科4科目〕	外			
後期		3月12日	数	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 } から1 英,独,仏,中,韓から1 } 〔4教科4科目〕	その他			

【個別学力検査等】欄

（注1）総合問題の内容については、19ページに記載しています。

（注2）問題解決・提案力テストの内容については、19ページに記載しています。

芸術表現コース実技検査の選択方法

〔前期日程〕

出願時に「3科目型」を選択した受験者には実技検査（描写表現）,「4科目型」を選択した受験者には実技検査（発想表現）を課します。実技検査（描写表現）では、(1)~(3)のいずれかを出願時に選択します。出願後の変更はできません。

○実技検査（描写表現）

(1) 木炭による石膏デッサン (2) 鉛筆による石膏デッサン (3) 水彩による静物着彩

○実技検査（発想表現）

発想・企画プレゼンテーション

○持参道具については、募集要項に掲載します。

〔後期日程〕

出願時に(1)~(4)のいずれかを選択します。出願後の変更はできません。

○実技検査（描写表現）

(1) 木炭による石膏デッサン (2) 鉛筆による石膏デッサン (3) 水彩による静物着彩

○実技検査（発想表現）

(4) 発想・企画プレゼンテーション

○持参道具については、募集要項に掲載します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技	面接	調査書等	その他	配点合計	
センター試験	200	*100	*100	*100	*100	200							500	推薦 A O 外国人 追加合格
個別学力検査									500				500	
計	200	*100	*100	*100	*100	200			500				1000	
センター試験	200	*200 (注)				200							600	欠員補充
個別学力検査									400				400	
計	200	*200 (注)				200			400				1000	
センター試験	200	*100	*100	*100	*100	200							500	追加合格
個別学力検査									300				300	
計	200	*100	*100	*100	*100	200			300				800	
センター試験	200	*100	*100	100	100	200							700	A O 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査							400						400	
計	200	*100	*100	100	100	200	400						1100	
センター試験	200	*100	*100	*100		200							600	欠員補充
個別学力検査						100						200	300	
計	200	*100	*100	*100		300						200	900	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表しています。

(注) 1教科2科目又は2教科2科目を選択し、配点は各科目100点の合計200点とします。なお、数学または理科から少なくとも1教科の選択を必須とします。

平成29年度 佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
経済学部 〔4.0〕 260人 前期 135 後期 65 その他60	経済学科 110人 前期 70 後期 20 その他 20	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿・会,情から1 英,独,仏,中,韓から1	外	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	
	経営学科 80人 前期 30 後期 20 その他 30	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 理 外	国【必須】 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿・会,情から1 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 物,化,生,地学,基礎を付した科目 英,独,仏,中,韓から1	その他	小論文	
	経済法学科 70人 前期 35 後期 25 その他 10						
医学部 〔5.5〕 166人 前期 85 後期 15 その他66	医学科 106人 前期 50 後期 10 その他 46	前期 2月 25日・ 26日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,簿・会,情から1 物【必須】 化【必須】 英【必須】	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物,化基・化 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接	約5倍※
		後期 3月 12日・ 13日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,簿・会,情から1 物,化,生から2 英【必須】	その他	面接	約10倍※
	看護学科 60人 前期 35 後期 5 その他 20	前期 2月 25日・ 26日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿・会,情から1 物,化,生から2 英【必須】	その他	小論文 面接	
		後期 3月 12日・ 13日			その他	面接	

※2段階選抜は、大学入試センター試験の成績及び調査書の審査による選抜を行い、前期日程にあってはその合格者に対して個別学力検査等を実施し、後期日程にあってはその合格者に対して調査書の追加として自己推薦書を提出させ、個別学力検査等を実施します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技	面接	調査書	その他	配点計	
センター試験	200	*100	*100	200		200							700	推薦外国人追加合格 欠員補充
個別学力検査						100							100	
計	200	*100	*100	200		300							800	
センター試験	200	*100	*100	200	*100	200							700	推薦女子 佐賀県推薦外国人追加合格 欠員補充
個別学力検査								100					100	
計	200	*100	*100	200	*100	200		100					800	
センター試験	140	*70	*70	140	140	140							630	推薦女子 佐賀県推薦外国人追加合格 欠員補充
個別学力検査				80	80	80				☆60	100		400	
計	140	*70	*70	220	220	220				60	100		1030	
センター試験	140	*70	*70	140	140	140							630	推薦社会人追加合格 欠員補充
個別学力検査										☆180	100		280	
計	140	*70	*70	140	140	140				180	100		910	
センター試験	140	*70	*70	100	200	140							650	推薦社会人追加合格 欠員補充
個別学力検査								100		☆60	100		260	
計	140	*70	*70	100	200	140		100		60	100		910	
センター試験	140	*70	*70	100	140	140							590	推薦社会人追加合格 欠員補充
個別学力検査										☆180	100		280	
計	140	*70	*70	100	140	140				180	100		870	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

配点に☆印を付してある面接は、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

平成29年度佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
理工学部 〔5.0〕 490人 前期 340 後期 94 その他56	数理学科 前期 30人 後期 24人 その他 若干	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	
		後期 3月 12日	理 外	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	
	物理科学科 前期 40人 後期 30人 その他 8人 その他 2人	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	
		後期 3月 12日	理 外	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	理	物基・物	
	知能情報 システム学科 前期 60人 後期 45人 その他 10人 その他 5人	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	
		後期 3月 12日	理 外	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B } から1 物基・物 } (注)	
機能物質化学科 前期 90人 後期 62人 その他 16人 その他 12人	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ		
	後期 3月 12日	理 外	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	理	化基・化		
機械システム 工 学 科 前期 90人 後期 58人 その他 17人 その他 15人	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ		
	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物【必須】 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕		

【個別学力検査等】欄

(注) 数学及び理科の2教科を受験した場合は、高得点の教科を採用します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技	面接	調査書等	その他	配点計	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	欠員補充
個別学力検査				400									400	
計	100	*50	*50	550	150	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	追加合格 欠員補充
個別学力検査					400								400	
計	100	*50	*50	150	550	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	追加合格 欠員補充
個別学力検査				*400	*400								400	
計	100	*50	*50	*550	*550	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	追加合格 欠員補充
個別学力検査					400								400	
計	100	*50	*50	150	550	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	欠員補充
個別学力検査				400									400	
計	100	*50	*50	550	150	150							1000	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

平成29年度佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
理工学部 電気電子工学科 90人 前期 60 後期 22 その他 8 都市工学科 90人 前期 61 後期 15 その他 14	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 物基・物, 化基・化から1 コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II		
			後期 3月 12日				国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物【必須】 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕
	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 物基・物 コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II		
			後期 3月 12日				国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物【必須】 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕
	農学部 〔3.9〕 145人 前期 85 後期 30 その他30 生物環境科学科 60人 前期 30 後期 15 その他 15 生命機能科学科 40人 前期 30 後期 5 その他 5	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学, 基礎を付した科目 から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 外	数I・数II・数A・数B コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II	
				後期 3月 12日			

【個別学力検査等】欄

(注) 数学及び理科の2教科を受験した場合は、高得点の教科を採用します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入 試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	実技	面接	調査 書等	その他	配点 合計	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 婦国子女 外 国 人
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	追加合格
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	欠員補充
個別学力検査				*400	*400								400	
計	100	*50	*50	*550	*550	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 婦国子女 外 国 人
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	追加合格
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	欠員補充
個別学力検査					400								400	
計	100	*50	*50	150	550	150							1000	
センター試験	150	*50	*50	100	200	100							600	推 薦 婦国子女 外 国 人
個別学力検査				200		200							400	
計	150	*50	*50	300	200	300							1000	追加合格
センター試験	100	*50	*50	100	200	100							550	欠員補充
個別学力検査				200									200	
計	100	*50	*50	300	200	100							750	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

平成29年度特別入試（推薦入試）出願資格・選抜方法〔教育，芸術，経済〕

出願資格・出願要件（全学部）											
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を平成29年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す											
学部	学科・コース等	方式	募集人員	セ試	出願要件	提出書類	段階	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
教育学部	幼小連携教育課程 特別支援教育専攻 学校教育課程 推薦Ⅰ	推薦Ⅰ	5	×	(1) 将来、特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員になることを強く志望する者 (2) 高等学校の調査書における評定平均値が3.8以上の者	調査書、推薦書		基礎学力試験（外国語）、小論文、面接	12/2	12/12	
											1次
教育学部	小中連携教育課程 初等教育主専攻 学校教育課程 推薦Ⅰ [佐賀県枠]	推薦Ⅰ	5	×	(1) 佐賀県内の高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者 (2) 将来、佐賀県下の小学校教員として活躍を期待するに十分な意欲、資質、適性等を有する者 (3) 高等学校の調査書における評定平均値が4.3以上の者	調査書、推薦書、志望理由書	2次	基礎学力試験（外国語、数学）、小論文、面接	12/2	12/12	
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 推薦Ⅰ	推薦Ⅰ	4	×	学業成績、人物ともに特に優れ、芸術表現の分野における優れた経験・知識・技術・実績及び熱意があると評価される者	調査書、推薦書、ポートフォリオ		面接（口頭試問を含む）、実技検査	11/1～11/8	12/2	12/12
経済学部	経済学科	推薦Ⅰ [商業系]	10	×	(1) 高等学校で成績が最終学年次（最終学年次において外国に留学した者については、その前学年次）に上位10%以内の者で、人物、学力について優れる者（コース毎等のみの順位による推薦はできない） (2) 平成28年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、志望理由書		小論文、面接（口頭試問を含む）	11/1～11/8	12/2	12/12
	経営学科		20								
	経済学科	10	×								
	経営学科	10									
経済法学科	10										

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件（全学部共通）に記載した学校及び施設を示す。
 ※「セ試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 調査書・推薦書の評価基準 学業成績、修学状況、部活動、社会活動等を見ます。</p> <p>(2) 小論文の評価基準 出題されたテーマに対して、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力を見ます。</p> <p>(3) 基礎学力試験の評価基準 高等学校の教科書程度の内容が十分理解できているかを、基礎的な問題によって評価します。</p> <p>(4) 面接の評価基準 勉学意欲、特別支援教育への興味・関心等を見ます。</p> <p>(5) 合否判定基準 書類（調査書及び推薦書）、小論文、基礎学力試験、面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・外国語はコ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ</p>
<p>(1) 調査書等の評価基準 学業成績が優秀かどうか、教職を目指す強い意志を持ち、教員になるための基礎的な資質、能力を兼ね備えているかを、調査書、推薦書、志望理由書等により評価します。</p> <p>(2) 小論文の評価基準 資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより、文章理解力、資料の内容に関する知識、論理的な思考力、文章構成力、表現力を評価します。</p> <p>(3) 面接の評価基準 志望動機、学習意欲、積極性、コミュニケーション能力について評価し、将来小学校教員になるための適性を備えているかを判断します。</p> <p>(4) 基礎学力試験の評価基準 高等学校の教科書程度の内容が十分理解できているかを、基礎的な問題によって評価します。</p> <p>(5) 合否判定基準 基礎学力試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書、志願者の志望理由書を総合して、合格者を決定します。 佐賀県教育委員会による第1次選考（書類審査）を行い、その選考結果は、平成28年11月17日（休）頃発送します。 第2次選考については、第1次選考合格者に対して小論文、面接及び基礎学力試験を行い、各成績評価と書類審査の評価を総合して合格者を決定します。</p>	<p>・外国語はコ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ ・数学は数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数Bで数Bは数Ⅰ・ベクトル</p>
<p>(1) 調査書、推薦書、ポートフォリオ（※）の採点・評価基準 調査書では「各教科、科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。また、推薦書とポートフォリオでは、活動実績と芸術表現に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 ※ポートフォリオは活動実績や作品などをA4用紙で5ページ以内のファイルにまとめて提出してください。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 グローバルな社会問題に関心があり、芸術表現を通じて地域社会を機能的に繋げていける発想力、コミュニケーション能力等を有しているかを採点・評価基準とします。加えて、芸術表現に関する口頭試問によって基礎的知識や制作活動の経験と把握し、芸術表現に関する意欲の高さを評価します。学習の目標が明確で、それが芸術表現コースの内容に合致する者に高い評価を与えます。</p> <p>(3) 実技検査の採点・評価基準 自らの手による表現力、発想力など芸術表現に関わる基本的な能力を有しているかを採点・評価基準とします。 美術・工芸分野及び有田セラミック分野の着彩では、基礎的な造形力に加え水彩絵具による表現力なども総合的に評価します。粘土による造形表現またはろくろ造形表現では、基礎的な造形力と表現力などを総合的に評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書及びポートフォリオ）、面接及び実技検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・実技検査 美術・工芸分野：着彩・粘土造形から1 有田セラミック分野：着彩・粘土造形・ろくろ造形から1 ・入学志願者が募集人員の約10倍を超えた場合は、書類（調査書、推薦書及びポートフォリオ）による第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書等の採点・評価基準 学習状況、資格取得状況、クラブ活動等を見ます。</p> <p>(2) 小論文の採点・評価基準 資料を提示の上、それについての読解力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。</p> <p>(3) 面接の採点・評価基準 高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</p>	<p>・商業系（商業高等学校の全科を含む）・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）</p>
<p>(1) 調査書等の採点・評価基準 学習状況、クラブ活動等を見ます。</p> <p>(2) 小論文の採点・評価基準 資料を提示の上、それについての読解力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。</p> <p>(3) 面接の採点・評価基準 高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</p>	<p>・普通科又はこれに準ずると本学部が認める科 ・出願要件の②については証明する資料を添付</p>

平成29年度特別入試（推薦入試）出願資格・選抜方法〔医〕

出願資格・出願要件（全学部）											
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を平成29年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す											
学部	コース等	方式	募集人員	セ試	出願要件	提出書類	段階	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格発表日
医学部	医学科	推薦Ⅱ [一般枠]	20	5-7	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた医師あるいは医学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 平成28年4月以降に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、自己推薦書					
		推薦Ⅱ [佐賀県枠]	23	5-7	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内の医療活動に貢献したいという強い意思を有する者 (3) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は平成27年4月以降に卒業を認められた者で、次のいずれかに該当する者 ①佐賀県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 ②佐賀県外の高等学校を卒業又は卒業見込みの者のうち、佐賀県内の小学校、中学校のいずれかを卒業し、保護者が佐賀県内に平成28年10月1日現在で3年以上在住している者（出願手続時に住民票あるいは戸籍の附票で確認） (4) 大学卒業後は、佐賀県内の基幹型臨床研修病院において、初期臨床研修（2年）を受けることを確約できる者	調査書、推薦書、自己推薦書、志願理由書、確約書	セ試得点、小論文、面接	11/1～11/8	12/3	2/8	
		推薦Ⅱ [長崎県枠]	1	5-7	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、長崎県内の地域医療に貢献したいという強い意思を有する者 (3) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は平成27年4月以降に卒業を認められた者で、次のいずれかに該当する者 ①長崎県内の小学校又は中学校を卒業した者 ②長崎県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (4) 入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者						
	看護学科	推薦Ⅰ	20	×	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた看護職者あるいは看護学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 平成28年4月以降に高等学校卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、自己推薦書		小論文、面接	11/1～11/8	12/3	12/12

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件（全学部共通）に記載した学校及び施設を示す。

※「セ試」とは大学入試センター試験を、5-7とは5教科7科目を示す。

※大学入試センター試験を利用する場合、必要な教科・科目のうち一つでも受験しなかった者は失格となる。

学部	コース等	方式	募集人員	セ試	出願要件	提出書類	段階	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格発表
医学部	医学科	佐賀県推薦入学	2	5-7	(1) 佐賀県が責任をもって推薦できる者（佐賀県による第一次選考合格者） (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内での医療活動に従事し、県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す者 (3) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者若しくは平成26年4月以降に卒業を認められた者、又は、高等専門学校第3学年を平成29年3月修了見込みの者若しくは平成26年4月以降に修了した者で、いずれも高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者（高等学校には、中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む） (4) 最終合格者は、必ず佐賀大学医学部に入学し、卒業後は佐賀県内で医療に貢献することを確約できる者	調査書、所信書、確約書	1次	佐賀県による面接	11/1～11/7	11/12 11/13	11/14
						佐賀県からの推薦書	2次	セ試得点、小論文、面接	11/17～11/22	12/3	2/8

※「セ試」とは大学入試センター試験を、5-7とは5教科7科目を示す。

※大学入試センター試験を利用する場合、必要な教科・科目のうち一つでも受験しなかった者は失格となる。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる 良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解 決しうる能力を評価します。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる 上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優 れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。</p> <p>(3) 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性及協調性に富 んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価しま す。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱います。</p> <p>(4) 合否判定基準 大学入試センター試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格 者を決定します。 なお、大学入試センター試験の成績が本学の基準を満たしていない場合、あるいは面接の評価 が低い場合は不合格とすることがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書の「4. 学習成績概評」欄に①と標示する場合は、「9. 備考」欄にその理由を必ず明記 ・入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学 校長推薦書))による第1次選考を行う場合がある ・大学入試センター試験の利用科目及び配点 国 必須【160】 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1【80】 数Ⅰ・数A 必須、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1【160】 物 必須、化 必須【160】 英 必須【160】 ・推薦人員は各高校2人以内 ・調査書の「4. 学習成績概評」欄に①と標示する場合は、「9. 備考」欄にその理由を必ず明記 ・保護者とは、子女に対して親権を行う者、親権を行う者のないときは、未成年後見人をいう。(本学部における保護者の定義<学 校教育法から引用>) ・入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学 校長推薦書))による第1次選考を行う場合がある ・大学入試センター試験の利用科目及び配点 国 必須【160】 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1【80】 数Ⅰ・数A 必須、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1【160】 物 必須、化 必須【160】 英 必須【160】 ・合格者は県内医療活動に従事し、地域医療を担う人材を育成する ための佐賀県医師修学資金の貸与を受けられる(5人以内) ・佐賀県医師修学資金については佐賀県健康福祉部医務課に問い合わせ ・調査書の「4. 学習成績概評」欄に①と標示する場合は、「9. 備考」欄にその理由を必ず明記 ・入学志願者が募集人員の約10倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学 校長推薦書))による第1次選考を行う場合がある ・大学入試センター試験の利用科目及び配点 国 必須【160】 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1【80】 数Ⅰ・数A 必須、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1【160】 物 必須、化 必須【160】 英 必須【160】 ・長崎県医学修学資金については長崎県福祉保健部に問い合わせ
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる 良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解 決しうる能力を評価します。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる 上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優 れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。</p> <p>(3) 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性及協調性に富 んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価しま す。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱います。</p> <p>(4) 合否判定基準 小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。 なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書の「4. 学習成績概評」欄に①と標示する場合は、「9. 備考」欄にその理由を必ず明記 ・募集人員のうち2人以内を専門系の科、総合学科の専門科目単位 取得者(20単位以上)から募集 ・推薦人員は各高校2人以内

評価基準	その他要件等
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる 良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解 決しうる能力を評価します。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる 上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優 れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。また、将来、 佐賀県内での医療活動に従事し県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す意 思の有無も評価の基準とします。</p> <p>(3) 佐賀県からの推薦書等 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性及協調性に富 んでいるかを、佐賀県からの推薦書及び添付書類を参考に評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 佐賀県からの推薦書等、小論文、面接、大学入試センター試験の成績を総合的に判断して、合 格者を決定します。 なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県在住者だけでなく、日本国内の居住者も対象 ・佐賀県から佐賀大学への推薦人数は6人程度 ・第1次選考については佐賀県健康福祉部医務課に問い合わせ ・佐賀県が行う第一次選考を経て、佐賀県の推薦により佐賀大学医 学部による第二次選考を受験する資格を得た者 ・大学入試センター試験の利用科目及び配点 国 必須【140】 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1【70】 数Ⅰ・数A 必須、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1【140】 物 必須、化 必須【140】 英 必須【140】

平成29年度特別入試（推薦入試）出願資格・選抜方法〔理工，農〕

出願資格・出願要件（全学部）											
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を平成29年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す											
学部	学科・コース等	方式	募集人員	セ 試	出願要件	提出書類	段階	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
理工学部	知能情報システム学科	推薦Ⅰ 〔情報系〕	2	×	学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者 (1) 学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 平成28年3月に高等学校を卒業した者を含む (3) 以下に指定している科目を履修している者 機能物質化……数学Ⅲ、化学 その他の学科……数学Ⅲ、物理	調査書、推薦書	小論文、面接(口頭試問を含む)	11/1 ～11/8	12/2	12/12	
	機能物質化学科	推薦Ⅰ 〔工業系〕	2								
	機械システム工学科		5								
	電気電子工学科		4								
	都市工学科		4								
	物理科学科	推薦Ⅱ 〔普通系〕	2	5-7			セ 試 得 点	1/16 ～1/23	—	2/8	
	知能情報システム学科		3								
	機能物質化学科		10								
	機械システム工学科		10								
	電気電子工学科		4								
都市工学科	10										
農学部	応用生物科学科	推薦Ⅰ 〔専門系〕	3	×	(1) 学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 学習成績概評が㊤として推薦できる者 (1) 学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者	調査書、推薦書、志望理由書	小論文、面接(口頭試問を含む)	11/1 ～11/8	12/2	12/12	
	生物環境科学科		3								
	生命機能科学科		1								
	応用生物科学科	7									
	生物環境科学科	12									
	生命機能科学科	4									

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件（全学部共通）に記載した学校及び施設を示す。

※「セ試」とは大学入試センター試験を、5-7とは5教科7科目を示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対し、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力を見ます。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 志望学科に必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。</p> <p>(3) 調査書の採点・評価基準 学業成績、クラブ活動や、情報及び理数関連の実績等学業以外の活動が志望動機となっている場合も評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</p>	<p>・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）</p>
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対し、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力を見ます。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 志望学科に必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。</p> <p>(3) 調査書の採点・評価基準 学業成績、クラブ活動や理数関連の実績等学業以外の活動が志望動機となっている場合も評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</p>	<p>・工業系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）</p> <p>・機械系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）</p> <p>・電気・電子・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）</p> <p>・土木・建築系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）</p>
<p>(1) 調査書及び推薦書の評価基準</p> <p>1) 調査書 高校での履修状況、修学状況（出席等）、生活態度等について総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦書 「推薦の理由」が理工学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）における「求める学生像」を踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 合否判定基準 大学入試センター試験の成績、調査書及び推薦書を総合して合格者を決定します。 なお、大学入試センター試験の成績が本学の定める基準を満たしていない場合は、不合格とすることがあります。</p>	<p>・大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点等 国 必須【100】 世B、日B、地理B、倫・政経 から1【100】 数I・数A 必須、数II・数B、簿・会、情 から1【300】 物、化、生、地学 から2*【250】 英、独、仏、中、韓 から1【250】</p> <p>※物理科学科、機械システム工学科及び都市工学科の志願者は物理の選択が必須</p>
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力を見ます。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について、口頭試問します。</p> <p>(3) 調査書の採点・評価基準 学業成績、修学状況、部活動及び社会活動を見ます。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類選考（調査書、志望理由書等）、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。</p>	<p>・調査書の「9. 備考」欄に学習成績概評が㊦の理由を明記</p> <p>・専門系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）</p> <p>・推薦人員は各高校の各課程から各学科に対し2人以内。ただし、生命機能科学科は1人</p> <p>・総合学科は専門科目単位20単位未満の者</p> <p>・推薦人員は各高校の各課程から各学科に対し2人以内</p>

平成29年度特別入試（AO入試）出願資格・選抜方法〔教育、芸術〕

学部	学科・コース等	募集人員	七試	出願資格および出願要件	提出書類	試験			
						試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
教育学部	小中連携教育コース 初等教育主専攻	10	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月以降に卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月以降に修了した者及び平成29年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成27年4月以降にこれに該当する者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、理数、音楽、体育、家庭のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、初等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、小学校等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、志願理由書、活動実績報告書	小論文、面接（口頭試問を含む）、志望分野に関する適性検査	8/18 ～8/25	9/27 音楽分野は 9/27・28	10/7
	小中連携教育コース 中等教育主専攻	8	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月以降に卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成27年4月以降に修了した者及び平成29年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成27年4月以降にこれに該当する者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、理数、音楽、保健体育、家庭、技術のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、中等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、中学校等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者					
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース	6	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年4月以降にこれに該当する者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、志願理由書、ポートフォリオ	志望分野に関する適性検査、面接（口頭試問を含む）	8/18 ～8/25	9/27	10/7
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース	15	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 地域デザインコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、志願理由書、特色加点申請書（希望者のみ）	小論文、適性検査、面接			

※「七試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では、出願資格および出願要件の(2)(3)および本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 活動実績報告書の評価基準 志望分野に関するこれまでの活動実績（研究活動等の実績、外部の英語検定試験の成績、留学経験、大会・コンクール等の実績）を評価します。</p> <p>(3) 小論文の評価基準 学校教育に関する資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより、文章理解力、資料の内容に関する知識、論理的な思考力、文章構成力、表現力を評価します。</p> <p>(4) 面接の評価基準 志望動機、専門領域に関する知識や理解、修学意欲、積極性、コミュニケーション能力等を評価し、将来小学校等の教員になるための適性を備えているかを判断します。</p> <p>(5) 適性検査の評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書）、小論文、面接及び適性検査（活動実績報告書の評価を含む）の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・適性検査内容 英語分野：英語の筆記試験（総合問題、英作文、要約問題） 理数分野：理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料（持参）をもとに発表及び質疑応答 音楽分野：専攻楽器（または声楽）の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 体育分野：基礎運動能力（背筋力、反復横とび、ジャンプ力、ソフトボール投げ） 家庭分野：献立作成と調理 ・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類（調査書、志願理由書及び活動実績報告書）により、第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 活動実績報告書の評価基準 志望分野に関するこれまでの活動実績（研究活動等の実績、外部の英語検定試験の成績、留学経験、大会・コンクール等の実績）を評価します。</p> <p>(3) 小論文の評価基準 学校教育に関する資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより、文章理解力、資料の内容に関する知識、論理的な思考力、文章構成力、表現力を評価します。</p> <p>(4) 面接の評価基準 志望動機、専門領域に関する知識や理解、修学意欲、積極性、コミュニケーション能力等を評価し、将来中学校等の教員になるための適性を備えているかを判断します。</p> <p>(5) 適性検査の評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書）、小論文、面接及び適性検査（活動実績報告書の評価を含む）の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・適性検査内容 英語分野：英語の筆記試験（総合問題、英作文、要約問題） 理数分野：理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料（持参）をもとに発表及び質疑応答 音楽分野：専攻楽器（または声楽）の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 保健体育分野：基礎運動能力（背筋力、反復横とび、ジャンプ力、ソフトボール投げから2）及び学校体育教材（バスケットボール、サッカー、バレーボールから2）における運動技能 家庭分野：献立作成と調理 技術分野：与えられたテーマについてレゴブロックを用いて作品をつくり、プレゼンテーション及び質疑応答 ・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類（調査書、志願理由書及び活動実績報告書）により、第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書、志願理由書、ポートフォリオ（※）の採点・評価基準 調査書では「各教科、科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。また、志願理由書とポートフォリオでは、活動実績と芸術表現に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 ※ポートフォリオは活動実績や作品などをA4用紙で5ページ以内のファイルにまとめて提出してください。</p> <p>(2) 面接の評価基準 熱意、修学意欲、積極性、主体性、発想力等を総合的に評価します。</p> <p>(3) 模擬授業における採点・評価基準 教科・科目から判断される基礎学力とは異なる主体性や分析力、行動力及び考察力を重視した多面的・総合的な採点、評価を行います。</p> <p>(4) プレゼンテーション及び質疑応答の採点・評価基準 発想力、企画力、表現力を持ち、積極的に行動し、意欲的かつ継続的な芸術の研究や自主的な芸術活動を目指しているかを採点・評価基準とします。</p> <p>(5) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）、適性検査及び面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・適性検査内容 美術・工芸分野：模擬授業を受けての制作、プレゼンテーション及び質疑応答 有田セラミック分野：模擬授業を受けての粘土を用いた制作、プレゼンテーション及び質疑応答 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）による第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では、本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 特色加点の採点・評価基準（申請者のみ） 本コースのアドミッション・ポリシーに応じて、これまでの活動実績を評価します。</p> <p>(3) 面接の評価基準 熱意、修学意欲、積極性、主体性等を総合的に評価します。</p> <p>(4) 小論文の採点基準 読解力、論理的思考力、分析力、考察力、企画力、発想力、表現力等を総合的に判断します。</p> <p>(5) 適性検査の採点・評価基準 コミュニケーション能力、論理性、表現力等を総合的に評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書、特色加点申請書〈申請者のみ〉）、小論文、適性検査及び面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・適性検査内容 与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 ・「特色加点」とは志願者のこれまでの主体的な活動をアドミッション・ポリシーに応じて加点する制度 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類（調査書、志願理由書及び特色加点申請書〈申請者のみ〉）による第1次選考を行う場合がある</p>

平成29年度特別入試（帰国子女，社会人）出願資格・選抜方法〔医，理工，農〕

学部	学科	方式	募集人員	七試	出願資格および出願要件	提出書類	試験			
							試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
医学部	医学科		若干人	×	<p>日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、保護者とともに2年以上継続して外国に在留し、次のいずれかに該当する者となります。</p> <p>ただし、平成27年3月31日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く）した者及び保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの期間が2年以上経過した者は、出願を認めません。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を平成27年4月1日から平成29年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者</p> <p>ただし、外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を平成27年又は平成28年に授与された者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成27年又は平成28年に授与された者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成27年又は平成28年に授与された者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p>	証明書類	学力検査（数学・理科・外国語）、面接	11/1 ～11/8	2/25・26	3/7
	理工学部	全学科	若干人				<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者となります。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を外国又は日本において、平成27年4月1日から平成29年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去4年間の内、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者</p> <p>ただし、外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を平成27年又は平成28年に授与された者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成27年又は平成28年に授与された者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成27年又は平成28年に授与された者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p>			
農学部	全学科		若干人	×	<p>平成29年4月1日現在、年齢が満21歳以上であり、3年以上社会人として経験を有し、看護学を修め、卒業後看護の分野で就業する意志のある者で、次のいずれかに該当する者となります。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」と言う）を卒業した者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>注）社会人の期間には、学校等（予備校、大学、専修学校高等課程・専門課程）の在学期間は含まない</p>	調査書等、成績証明書、志願理由書	小論文、面接	11/1 ～11/8	12/3	12/12
医学部	看護学科	社会人	若干人				<p>平成29年4月1日現在、年齢が満21歳以上であり、3年以上社会人として経験を有し、看護学を修め、卒業後看護の分野で就業する意志のある者で、次のいずれかに該当する者となります。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」と言う）を卒業した者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>注）社会人の期間には、学校等（予備校、大学、専修学校高等課程・専門課程）の在学期間は含まない</p>	調査書等、成績証明書、志願理由書	小論文、面接	11/1 ～11/8

※「七試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 学力検査の教科名・科目名等 数学 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注） 理科 物基・物、化基・化 外国語 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ （注）数学は、数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Aは全範囲から出題します。数Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。</p> <p>(3) 合否判定基準 学力検査、面接、提出書類を総合して最終的な合格者を決定します。 なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。</p>	
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、解釈力、論理的思考力、表現力及び記述力等を見ます。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 必要な基礎知識、自己の目標、志望学科に対する意欲を問います。</p> <p>(3) 合否判定基準 書類（成績証明書等）、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。</p>	
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 これまでの社会人としての経験を生かした、看護学科志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通じて評価し、将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 なお、志願理由書及び調査書は面接にあたって参考にします。</p> <p>(3) 合否判定基準 小論文及び面接の結果を総合して、合格者を決定します。 小論文及び面接の配点 小論文200点、面接60点（総得点260点）</p>	

■推薦入試Ⅰ・推薦入試Ⅱ・医学部医学科佐賀県推薦入学の配点等

学部, 学科・課程等名			区分		書類審査 (調査書, 推薦書等)	小論文	面接	実技検査	その他	大学入試 センター 試験	総合得点 (総合評価)
			書類審査 (調査書, 推薦書等)	小論文							
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース 特別支援教育専攻	100	100	100	/	/	100 (注1)	/	/	400
		小中連携教育コース 初等教育主免専攻 〔佐賀県枠〕	50	100	150	/	/	200 (注2)	/	/	500
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース		300	/	300 (注3)	400	/	/	/	/	1000
経済学部	経済学科	商業系の科・ 情報系の科・ 総合学科推薦	40	100	2段階評価 (合, 否) (注3)	/	/	/	/	/	2段階評価 (合, 否)
	経営学科										
	全学科	普通科又はこれに準ずると本学部が認める科推薦	2段階評価								
医学部	医学科(推薦入試Ⅱ)		280	120	120	/	/	720 (注4)	/	1240	
	医学科(佐賀県推薦入学)		360	120	140	/	/	630 (注4)	/	1250	
	看護学科		150	200	150	/	/	/	/	500	
理工学部(推薦入試Ⅰ)	知能情報システム学科	2段階評価	3段階評価 (A, B, C)	3段階評価 (A, B, C) (注3)	/	/	/	/	/	/	総合評価 (良, 可, 不可)
	機能物質化学科										
	機械システム工学科										
	電気電子工学科										
	都市工学科										
理工学部(推薦入試Ⅱ)	物理科学科	2段階評価 (合, 否)	/	/	/	/	/	/	/	1000 (注4)	総合評価 (合, 否)
	知能情報システム学科										
	機能物質化学科										
	機械システム工学科										
	電気電子工学科										
	都市工学科										
農学部	全学科		100	200	200 (注3)	/	/	/	/	500	

(注1) 基礎学力試験(外国語)を課します。

(注2) 基礎学力試験(外国語, 数学)を課します。

(注3) 面接は, 口頭試問を含みます。

(注4) 大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点等については, 医学部は33ページ, 理工学部は35ページを参照してください。

■AO入試の配点等および特色加点制度

学部, 学科・課程等名			区分	書類審査 (調査書, 志願理由書等)	小論文	面接	適性検査	大学入試 センター 試験	総合得点 (総合評価)	特色加点
教 育 学 部	学 校 教 育 課 程	小中連携教育コース	初等教育主免専攻	100	100	150 (注1)	200 (注2)	/	550	/
			中等教育主免専攻							
芸 術 地 域 デ ザ イ ン 学 部	芸 術 地 域 デ ザ イ ン 学 科		芸術表現コース	400	/	200 (注1)	400 (注3)	/	1000	/
			地域デザインコース	2段階評価 合, 否	300	200	500 (注4)	/	1000	100

(注1) 面接は口頭試問を含みます。

(注2) 活動実績報告書の評価を含みます。

(注3) 模擬授業での評価を200点, プレゼンテーション及び質疑応答の評価を200点とします。

(注4) プレゼンテーション資料作成を300点, プレゼンテーション及び質疑応答を200点とします。

特色加点制度について

「特色加点」とは、志願者の積極的なアピールと高等学校入学以降の主体的な活動を喚起することを目的とした佐賀大学の新しい制度です。書類審査, 小論文, 適性検査などの合計点(以下, 「当初配点」という。)とは別に, 志願者のこれまでの主体的な活動をアドミッション・ポリシーに応じて加点します。実績・活動の規模や志望分野との関係性, 取り組み状況及び根拠資料の内容等を評価観点とします。志願者の申請を原則とし, 申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。これまでに志願者が取り組んできた様々な実績や活動等が申請対象となります。

特色加点のイメージ

評価方法	当初配点	+	特色加点申請書  最大100点まで加点
小論文	300		
適性検査	500		
面接	200		
合計点	1000		

(これまでの実績や活動の例)

- 地域創生などに関わる主体的な活動
 - 課外活動(部活動や生徒会活動など)における実績や取り組み
 - 研究活動(高大連携活動〈SSH, SGH等を含む〉, 総合的学習等での活動実績)
 - 資格・検定試験など外部試験等の実績
 - 海外留学経験
 - その他主体的な活動
- など

申請方法については, AO入試学生募集要項で発表します。

V 私費外国人留学生入試

本学では、私費外国人留学生のために特別の学力検査等を実施します。

1 出願資格

日本の国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」（平成28年6月又は平成28年11月実施のいずれか、医学部は平成28年11月実施のみ）を受験し、TOEFLを受験済みの者（経済学部を除く。）で、次に掲げる入学資格を有する者

- (1) 日本国外において、学校教育による12年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (2) 上記(1)に準ずる者で、文部科学大臣の指定する者

2 募集人員

各学部（教育学部、芸術地域デザイン学部、経済学部、医学部(医学科)、理工学部、農学部）とも若干人

3 入学者選抜方法

- (1) 教育学部、芸術地域デザイン学部、経済学部、理工学部、農学部

入学者の選抜は、次頁のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績及びTOEFLの成績（経済学部を除く）並びに本学が行う学力検査・面接等の成績を総合的に判断し最終的な合格者を決定します。

- (2) 医学部

入学者の選抜は、次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績及びTOEFLの成績並びに本学が行う学力検査・面接を総合的に判断し最終的な合格者を決定します。

※学力検査の教科・科目名等

数 学 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注）

理 科 物基・物、化基・化

外国語 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ

（注）数学は、数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Aは全範囲から出題します。数Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

事 項	教育学部		芸術地域 デザイン学部		経済学部	医学部	理工学部	農学部	
			芸術表現コース	地域デザインコース					
日本留学試験 目	利用する回の指定	6月、11月のいずれか		6月、11月のいずれか		6月、11月のいずれか	11月	6月、11月のいずれか	6月、11月のいずれか
	出題言語の指定	日本語		日本語		日本語	日本語	日本語又は英語	日本語
	文系と理系の別	文系	理系	文系		文系	理系	理系	理系
	日 本 語	○	○	○		○	○	○	○
	理 科	○		○		○		○	○
	数学(コース1)	△	△	△		○	○		○
	数学(コース2)	△	△	△		○		○	○
	総 合 科 目	○		○		○		○	
理科の選択科目	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択		○		○		「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択
TOEFL	○		○		○		○	○	○
学力検査等	面接, 日本語(作文)		面接, 実技検査	面接, 日本語(作文)	面接, 日本語	面接, 学力検査	面接	面接	
特記事項, 備考	面接を通じて, 教育学部の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。		鉛筆による デッサン (実技道具は大学で準備します。)		日本語は, 読解及び作文とします。	面接を通じて, 志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通じて, 志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通じて, 志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。	

(注1) ○印は, 必ず受験しておくことを示します。

(注2) △印は, 数学のコース1又はコース2から1つを受験しておくことを示します。

(注3) 各学部第1志望のみ。

日本留学試験, TOEFL, 学力検査等の配点等

事 項	教育学部		芸術地域 デザイン学部		経済学部	医学部	理工学部	農学部	
			芸術表現コース	地域デザインコース					
日本留学試験	文系と理系の別	文系	理系	文系		文系	理系	理系	理系
	日 本 語	450	450	450		325	450	450	450
	理 科	200		200		100	200	200	200
	数 学	200	200	200		100	200	200	200
	総 合 科 目	200		200		100	300		300
TOEFL	300		300		300		300	300	
面 接	400	400	500	400	合, 否	60	A, B, C	850	
日 本 語	500	500	500		300	240			
学 力 検 査									
実 技 検 査			400						
総 合 評 価 等	2050		2050		合, 否	合, 否	良, 可, 不可	合, 否	

4 入試日程

学 部	出願期間	試 験 日	合格者発表日
教育学部, 芸術地域デザイン学部, 経済学部, 理工学部, 農学部	平成29年1月19日(木) }	平成29年3月1日(水)	平成29年3月7日(火)
医学部	平成29年1月24日(火)	平成29年2月25日(土) } 平成29年2月26日(日)	

VI 障がい等を有する志願者との事前相談について

障がい等を有する志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前に下記の内容を記載した申請書（様式は任意）を入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

*申請書の内容

志願学部・学科（コース・専攻）

障がいの種類・程度

受験上の配慮を希望する事項

修学上の配慮を希望する事項

出身学校等でとられていた配慮

日常生活の状況

連絡先（氏名、電話番号、住所、出身高校）

相談の時期

AO入試志願者	平成28年7月29日(金)まで
推薦入試志願者	平成28年10月7日(金)まで
帰国子女特別入試志願者	
社会人特別入試志願者	
佐賀県推薦入学特別入試志願者	
私費外国人留学生入試志願者	平成28年12月2日(金)まで
一般入試志願者	平成29年1月16日(月)まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

VII 学生募集要項の公表・配布及び請求方法について

【募集要項の発表時期】

選抜種別	配布時期	選抜種別	配布時期
AO入試	7月上旬	帰国子女特別入試※	9月上旬
推薦入試	9月上旬	社会人特別入試※	
推薦入試（教育学部佐賀県枠）		私費外国人留学生入試	11月上旬
佐賀県推薦入学特別入試		一般入試	11月中旬

※帰国子女特別入試及び社会人特別入試の募集要項については、本学ホームページからダウンロードできます。

【募集要項の請求方法】

○テレメールで請求する方法



(1) URL <http://telemail.jp>

(2) 自動音声応答電話 IP 電話 050-8601-0101（通話料は一般回線からは3分毎に約12円）

資料名	資料請求番号	料金	資料名	資料請求番号	料金
大学案内	567482	300円	推薦入試学生募集要項	597352	350円
入学者選抜要項	587482	215円	佐賀県推薦入学特別入試学生募集要項	587492	215円
入学者選抜要項・大学案内	567452	350円	AO入試学生募集要項	547562	300円
一般入試学生募集要項	587452	300円	私費外国人留学生入試学生募集要項	587472	215円
一般入試学生募集要項・大学案内	547552	350円	※料金は予定額		

お問い合わせ先 テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102（9：30～18：00）

○マナビジョンで請求する方法 「大学案内・一般入試学生募集要項のみ」

URL <http://manabi.benesse.ne.jp/>

お問い合わせ先 進研アド・物流センター TEL 0740-36-1025（月～金9：00～17：00）

○大学情報センター「モバっちょ」で請求する方法 「大学案内・一般入試学生募集要項のみ」

携帯電話，スマートフォン，パソコンから請求できます。<http://djcm-b.jp/saga-u2/>

資料名	送料
大学案内	200円
一般入試学生募集要項	200円
一般入試学生募集要項・大学案内	300円



料金の支払い方法

(1) 請求時払い 携帯払い，スマホ払い，クレジットカード払いができます。（支払手数料は別途50円必要です。）携帯電話・スマホの機種，携帯電話会社との契約状況によって，通話料金と一緒に支払いできない場合があります。その場合，コンビニ後払いを選択してください。

(2) 後払い 資料到着後，コンビニでお支払いください。（支払手数料は別途126円必要です。）

お問い合わせ先 大学情報センター(株)モバっちょカスタマーセンター

TEL 050-3540-5005（平日10：00～18：00）

○郵送により請求する方法

本学あての封筒の表面に希望する学部・要項「○○学部」,「平成29年度○○要項請求」と朱書し, 返信用封筒(角型2号封筒に郵送先を明記し350円切手を貼付したもの)を同封の上, 入試課へ請求してください。請求のあった要項と大学案内を送付します。

○宅配便による配達を希望する請求方法(料金受取人払い)

1. 「ファックス」により, 請求する要項の種類, 希望する学部名, 受取人の郵便番号, 住所, 氏名, 電話番号等を記入し申し込んでください。請求のあった要項と大学案内を送付します。申込受付後の取消しはできませんので注意してください。

配達は, 申込者の住所によって異なりますが, 申込書受付後, 2~4日後となります。

(注) ファックスの受付は, 平日の8時30分~17時の間に行います。

2. 受領の際は, 中身を確認後, 料金を宅配業者に直接支払ってください。

○大学窓口での配布

平日の8時30分から17時まで, 佐賀大学学務部入試課で配布します。

○佐賀県推薦入学特別入試の学生募集要項は, 佐賀県健康福祉部医務課においても配布します。

お問い合わせ先 佐賀県健康福祉部医務課

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59 TEL 0952-25-7033 <http://www.pref.saga.lg.jp/>

佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

e - m a i l contact@mail.admin.saga-u.ac.jp